

イ 専門教育学科

募集定員の20%～40%

ウ 職業に関する学科

募集定員の30%～50%

エ 総合学科

募集定員の20%～40%

。出願できる者 志望する動機や理由が明白・適切であり、各高等学校が定める「前期募集選抜方法」

の中の「出願の条件」に適合すると自ら考える者

。検査内容 面接のほか、各高等学校が必要と認める場合は、作文、特技、個性表現のいずれか（複数可）を併せて実施します。

。選抜方法 各高等学校が定める「前期募集選抜方法」の中の「選抜資料比重」に基づき、調査書、面接及び各高等学校が実施する検査を総合判定し、選抜します。

②全日制後期募集

。実施校 県立高等学校の全日制課程の全ての学科及びコースで実施します。

。募集人員 後期募集は、募集定員から前期募集の入学許可内定者数を減じた数を募集します。

。検査内容 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科による学力検査を実施します。

。配点 各検査教科一〇〇点。ただし、専門教育学科及び普通科のコース指定について、各高等学校が希望する場合は、検査教科の配点を

を減じた数を募集します。

。選抜方法 各高等学校は、調査書及び学力検査の成績を総合判定し、選抜します。なお、判定に当たっては、調査書の記録と学力検査の成績を同等に扱います。

。検査内容 面接及び作文又は学力検査を併せて実施します。

③全日制再募集

。実施校 前期募集及び後期募集の結果、各高等学校において、入学許可予定者が学科又は職業に関するコースの募集定員に満たない場合に再募集を実施します。

。検査内容 面接及び作文又は学力検査を併せて実施します。

。募集人員 後期募集は、募集定員から前期募集の入学許可内定者数を減じた数を募集します。

。検査内容 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科による学力検査を実施します。

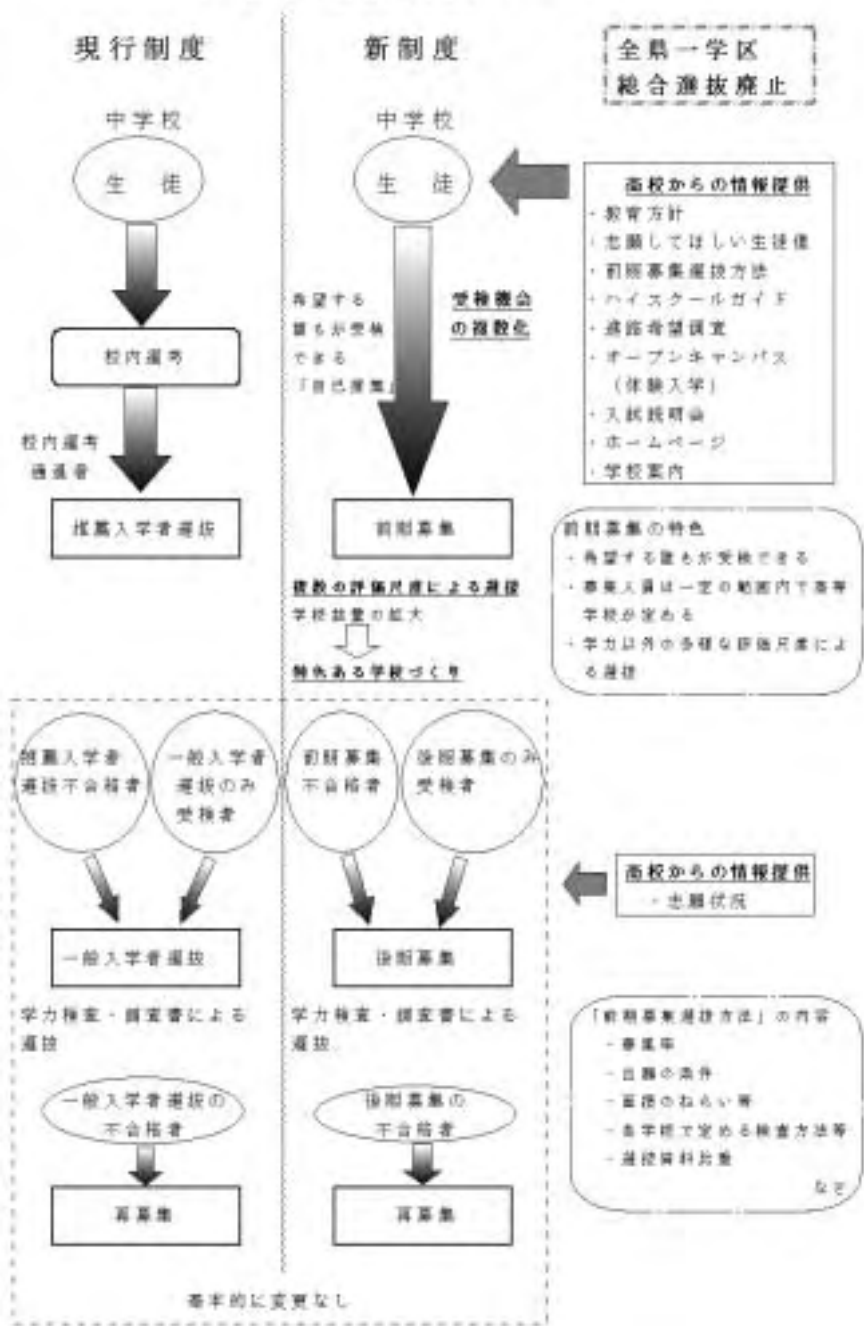
。配点 各検査教科一〇〇点。ただし、専門教育学科及び普通科のコース指定について、各高等学校が希望する場合は、検査教科の配点を

を減じた数を募集します。

。選抜方法 各高等学校は、調査書及び学力検査の成績を総合判定し、選抜します。なお、判定に当たっては、調査書の記録と学力検査の成績を同等に扱います。

。検査内容 面接及び作文又は学力検査を併せて実施します。

### 入学者選抜制度のイメージ



# 豊かな未来をはぐくむ高校教育推進事業

(平成十六〜十八年度)

— 高校教育課 —

## ■事業の趣旨・内容

各校の教育課程に基づいて、生徒が主体的・創造的に自ら学び、判断し、行動できる「生きる力」の育成を目指した特色ある教育活動を展開するという趣旨で、次のサポート事業から三事業以内を選択して実施しています。

- a 自己啓発・自己実現学習サポート
- b 中学校と高校との交流教育サポート
- c 課題解決能力・表現力・奉仕の精神を育てる学習サポート
- d 自己表現力を育てるプレゼンテーション学習サポート
- e 豊かな人間性を育む教養講座サポート
- f 特色ある学校づくりの学習活動サポート

高校教育課では各校の事業内容を精査し、その事業が生徒の思考力・判断力・表現力を育むことができるよう、さらに各校が生徒や地域の実態を十分踏まえ創意工夫を生かした特色ある

学校づくりができるようサポートしています。  
(予算総額四〇〇〇万円)

## ■各校の取組状況とその成果

普通高校では、「総合的な学習の時間」等と連動させて上記 a・c の事業を選択した上で、e の事業を実施している学校が多い一方、専門高校では、「課題研究」等と連動させて上記 c の事業を選択している学校が多く、全国的な大会に出場してその研究内容を発表する等、大きな成果をあげています。

また、毎年十月に実践発表会を開催し、各校の秀逸な実践事例を共に学び、事業の更なる充実を図っています。

全校より「生徒に還元できる有益な事業」との声が寄せられ、また、年度末の「自己評価」の結果も、「A評価」がほぼ一〇〇%を占めています。以下、三つの学校のこの事業からサポートを受けている教育活動の事例を紹介します。

## ■北杜高校(総合高校)

総合的学習「北の杜に生きる」では、一年生は「いのち」、二年生は「つながり」、三年生は「あした」というサブテーマのもと、調査・研究に取り組んでいます。

一年生においては、まずはクラスごとに共通学習の後、各自その年に研究する題目を絞り込み、八つの分野に分かれて研究を深めていきます。

この間、例えば、経験豊かな外部講師の先生方の講演や、担当教諭による体験学習、スクラップ作り等々、生徒の研究のヒントになるような内容をできるだけ多く盛り込むようにしています。

最終的には、各分野の代表者十六名が、学年全体の生徒の前で発表しますが、発表者はパワーポイントで発表内容をまとめるなど、プレゼンテーションも工夫し、かなり見応えのある発表会となります。今年二月の発表会では、「月の不思議／自然・環境分野」、「動物虐待／共生分野」、「音楽セラピー／医療分野」等の発表がありました。「いのち」をとらえる角度は様々ですが、それぞれの生徒の一年間の取り組みの成果と、内在する能力を感じることができました。生徒には、「北の杜に生きる」三年間の学習を通して、よりよく生きる力と豊かな人間性を育んでほしいと願っています。



外部講師による講演

### ■甲府東高校（普通科高校）

#### 一 大学見学会・ミニ大学

大学見学会については、実際に生のキャンパスを体験して進路意識が高められ、目標が明確になったと感じる生徒も多く、意義深い体験になっているようです。ミニ大学については年二回、一、二年生対象におよそ二〇講座、新進気鋭の大学の先生方に特別講義を行っていただいています。高校の授業にはない専門性や、独自性が感じられる優れた講座が多く、生徒にとって得難い体験となっています。

#### 二 わくわく英数教室・出前授業

どちらも中学三年生に、高校の授業を体験してもらっていますが、中学生には授業内容がたいへん好評で高い評価を得ています。また、高

校の職員も中学生と接して刺激を受けることも多く、双方にとって、意義のある事業だと思われま

#### 三 芸術鑑賞会

昨年は人間国宝の方の講談を呼ぶことができました。質の高いものをこれからも続けていきたいと思

います。これらの事業を通じて本校の生徒の高校生活が未来に向かって開かれ、より充実したものになるように取り組んで行きたいと思っています。



ミニ大学での講義

### ■富士北稜高校（総合学科高校）

#### 一 トライ&フィット

全系列の授業を、実習を中心にローテーションで体験することで、自己の適性と産業のしくみを学ぶ授業です。この体験授業をもとに、生

徒は自らの意志で系列選択を行います。系列では専門性の高い授業が用意され、各種の資格取得などを行いながら、自己の夢の実現を目指します。文部科学省が打ち出した「将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視する」という、総合学科高校の教育の特色に合った授業として、全国的にも注目されています。

#### 二 各種ボランティア活動

独り住まいの高齢者宅を訪問し、奉仕作業や会話をを行う「在宅訪問」や、養護学校との交流会をとおして、社会への貢献やボランティア精神を育むことを目指しています。ともに年二回計画されており、毎回多くの生徒が参加しています。

このように体験と系列を重視し、全国の総合学科高校の中でも、極めて特色ある教育活動を実施しています。



在宅訪問

# 生涯学習の推進

## 山梨ことぶき勸学院・大学院

### — 社会教育課 —

#### ● 山梨ことぶき勸学院の概要

山梨ことぶき勸学院・大学院は、山梨県が設置した高齢者のための生涯学習大学校です。設立は、昭和六十二年四月。目的には、「充実した生きがいを創造すること」「地域文化の振興に参画する活力ある指導者としての資質を身につけること」が掲げられています。

勸学院は、県下全域に九つの地域学園があり、甲府、中巨摩、東山梨、東八代、西八代、南巨摩、北巨摩、南都留、北都留の各学園に六六七名が学んでいます。また、勸学院卒業生を対象にした大学院は甲府と都留に学習の拠点があり、四四五名が学習しています。修業年限は共に二年間です。

#### ● 勸学院の学習内容

勸学院の学習は、地域学園での学習、中央ふれあい学園、公開学園の二本柱で出来ています。地域学園の学習は、年間一八回。午前中三時間の講義があり、午後にはクラブ活動が行われます。学習内容は、健康管理、食生活、歴史・文学・美術、法律や税金の基礎知識、環境問題、

地場産業、日本や世界の動きまで幅広く学ぶことができます。

全学院生が一堂に会する中央ふれあい学園は、入学式・卒業式とそれに併せた講演会・芸術鑑賞のほか、学校の学園祭に当たる勸学院祭と勸学院シンポジウムがあります。また、大学や市町村で行われる各種の講座に自主的に参加することも特徴のひとつになっています。

一方、大学院は、コース制を取り、学習をより深めることができます。甲府学園には郷土史、ふるさと民俗、文芸、くらしと環境の四コース、都留学園には文芸とふるさと民俗コースの二コースがあります。

#### ● 本年度の活動より

県内在住で、概ね六〇歳以上の、健康で学ぶ意欲のある方なら誰でも入学することができます。入学時の平均年齢は六六歳ほど。最高齢は大学院都留学園に八七歳の方がいます。

本年度の入学式は、四月十九日、県民文化ホールで行われました。数野強学院長より入学許可があり、山本栄彦知事の祝辞、内藤いづみ教育委員長の励ましのことばに続き、歓迎のことば、誓い



各地域学園毎に授業が始まりました。

のことばがあり、全員で勸学院歌を斉唱し、厳粛なうちに入学式を終えました。

六月から七月にかけて、一年生は一日研修に出かけました（二年

生は秋に宿泊研修を実施）。また、八月二十五日には、勸学院シンポジウムがあり、「21世紀を生きる 若者から見た現代社会、高齢者から見た現代社会」をテーマに、甲府南高校・甲府城西高校の生徒と意見交換を行いました。

五人に一人が高齢者の時代にあって、この時期を健康で、生きがいをもって過ごすことは、大きな意味を持っています。旺盛な学習意欲、積極的な行動力。高齢社会をどう生きるかのヒントが勸学院の諸活動のなかに見て取れるのではないかと思えます。



教室を出て自然に学ぶこともあります。（櫛形山にて）